

始業式・入学式を終えて

校長 平原 智美

始業式では「春は別れと出会いの季節」というお話をしました。新しい出会いについていくつかアドバイスをしました。2年生から6年生の児童のみなさん、始業式のお話をおぼえていますか。

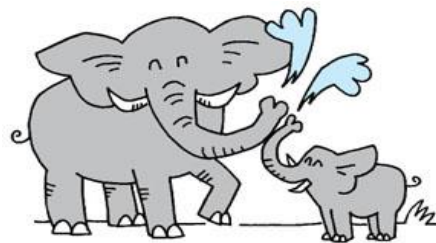
はじめの第一印象だけでその人のことを判断しないで、時間をかけて接することで、はじめてその人の本当の良さや思いが理解できるということがよくあります。また、どんなに気が合う人でもその人と本当に仲良しになるにはそれなりの時間が必要だということです。ですから、あせらず、あわてず、ゆっくりと本当に仲良くなれる人を見つけてほしいと思います。...



入学式では校長先生が1年生のみなさんに3つのお願いをしましたね。1つ目は「元気にあいさつをしてください。」2つ目は「先生のお話をしっかり聞いてください。」3つ目は「お友達と仲良くしてください。」と...1年生のみなさんは、「はい」とお返事をしてくれたので、とてもうれしかったです。

このように3つ「〇〇してください。」とお願いしましたが、「さい」を「ぞう」にかえてみると「元気にあいさつするぞう。」「先生のお話をしっかり聞くぞう。」「お友達となかよくするぞう。」となります。「〇〇するぞう！」は自分からすすんでいろいろなことにトライできることばです。

大口台小学校には「サイ」はいません。たくさんの「ゾウ」がかけています。これからいろいろな「ぞうさん」をさがしてみましようね。



「あいさつするぞう！！」
「話を聞くぞう！！」
「なかよくするぞう！！」

大口台小学校の「ぞうさん」みつけてね！！

大口台小学校の創立記念日

毎年4月30日は大口台小学校の創立記念日で、今年は66周年を迎えます。昨年は65周年記念ということで、航空写真を撮りました。その後、5年ごとイベントを実施する方向で考えておりますので、みなさんにご協力をお願いすることがあると思います。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

今日は大口台小学校の創立記念日ということで、大口台小学校の歴史を紹介させていただきます。私校長は、大口台小学校第20代目となります。

【大口台小学校の始まり】

昭和29年(1954年)4月1日、大口台小学校は横浜市立白幡小学校の分校として開校しました。

当時は木造2階建て校舎の一部しか完成しておらず、6教室だけでした。そこで1～3年生の児童だけが分校で学習し、4年生以上はそのまま白幡小学校で勉強することになりました。学校の周り是一片麦畑で今のように大きな建物はなく、横浜港も見ることができました。また、校庭にはざっ草が生えていて、夏休みの登校日には全員で草むしりを行いました。昭和30年(1955年)4月1日、横浜市立大口台小学校として独立しました。教室の数も13に増え、学級数22, 児童数961名で授業が始まりました。しかし、教室が足りなくて、1年生から3年生までは午前と午後に分かれて2部授業を行いました。また、当時プールはありませんでした。

昭和40年(1965年)、待ちに待った講堂ができました。そして、この年の卒業式が新しい講堂で行われました。それまでは、コンクリートでほそされた中庭で卒業式や入学式が行われていました。講堂が完成したあとは、行事や雨の日の体育の学習も心配なく行えるようになり、子どもたちは大喜びしました。昭和41年(1966年)7月4日、待ちのぞんだプールが完成し、この年から体育の学習で水泳が行われるようになりました。



学校のまわりの様子

【大口台小学校の校章の始まり】

校章の大口台文字のまわりの花はユリです。ユリの花は神奈川県の花に定められています。

学校が建てられる前、このあたりはぞうきばやしにおおわれ、妙蓮寺から子安につながる一本の道はさびしいところでした。さびしい道の両側には野生のユリがたくさん生えていて、土地の人々はこのあたりを「ユリ山」とよんでいたそうです。そこで、ユリの花を大口台小学校の校章に決めました。

(資料は創立60周年記念地域・歴史資料より抜粋)

令和3年度は始まったばかりです。これから、大口台小学校の66年目の歴史と伝統のページを刻むみなさんの前期の取組と活躍に期待しています。児童のみなさん、前期の自分の目標をしっかりとって頑張りましょう。



〈お願い〉

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組(マスクの着用、毎日の検温と健康観察のご提出、手洗いをこまめにする等)にご協力をよろしくお願いいたします。